

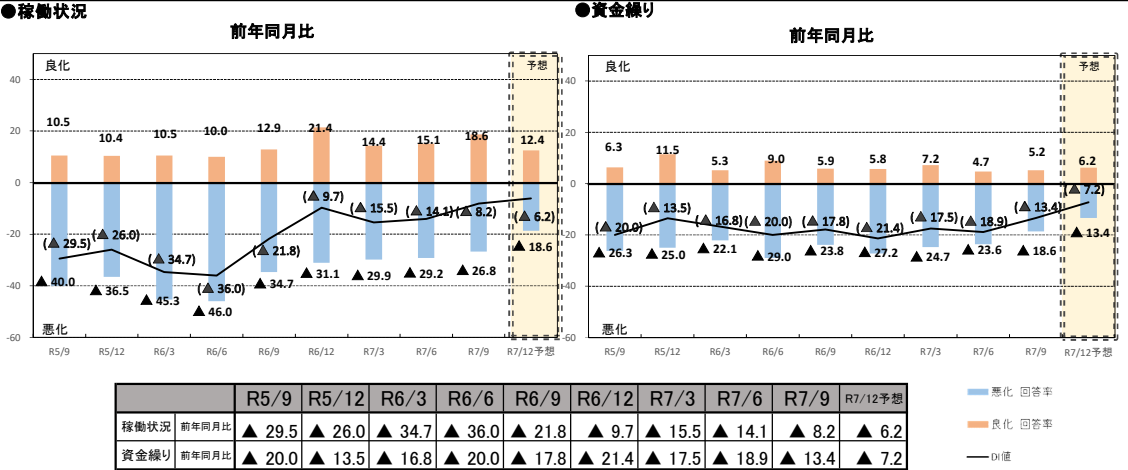
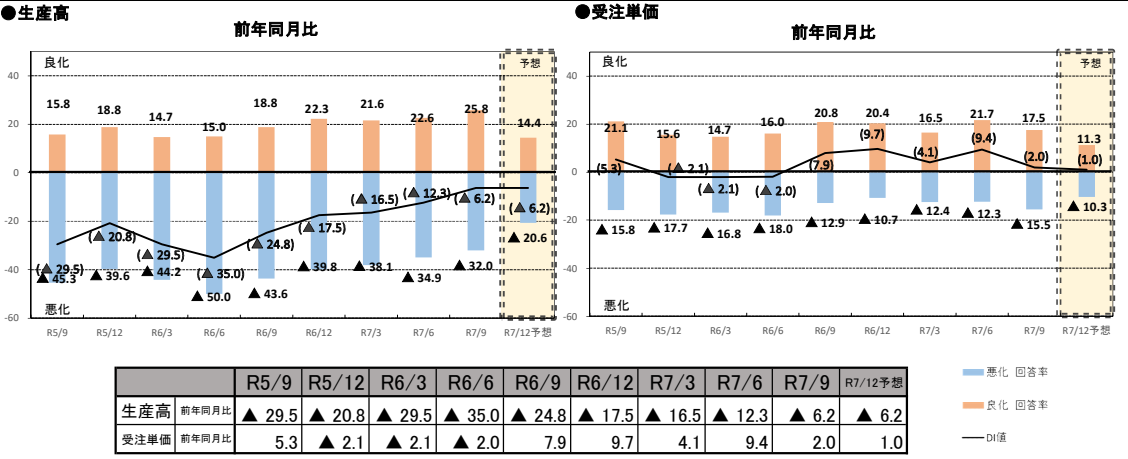
受注企業動向調査結果

-2025.9-

- 調査時点 令和7年9月調査(令和7年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 97社(回答率:64.67%)

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

＜業種内訳＞	
プラスチック	6社
鉄鋼・非鉄	6社
金属製品	21社
一般機械器具	21社
電気機器	23社
輸送用機器	7社
精密機器	9社
縫製	4社
計	97社



- 概要(総合)
- ・生産高(前年同月比)DIは▲6. 2で、前回の▲12. 3から6. 1ポイント増となった。
 - ・受注単価(前年同月比)DIは2. 0で、前回の9. 4から7. 4ポイント減となった。
 - ・稼働状況(前年同月比)DIは▲8. 2で、前回の▲14. 1から5. 9ポイント増となった。
 - ・資金繰り(前年同月比)DIは▲13. 4で、前回の▲18. 9から5. 5ポイント増となった。
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲6. 2、受注単価は1. 0、稼働状況が▲6. 2、資金繰りは▲7. 2という予想になった。
 - ・その他自由意見として、
- 【一般機械器具】
- ・ベテラン職人が減り、若手人材の育成に苦慮している。
 - ・受注は回復しているが、昨年の受注激減状態から体制をすぐに戻せず、逆に生産が追いついていない。この受注がいつまで続くかわからないため、うかつに人員の増加もできない。結局大手の動きに振り回されている。
 - ・同業他社の話として、特に関東圏では人材が集まらない。よって手間のかかる仕事が受けられないとのこと。
- 【鉄鋼・非鉄】
- ・競争激化、単価下げ傾向。
 - ・前年9月比予想同じですが、過去の減少(受注等)から回復していない(できていない)状況。
- 【電気機器】
- ・大幅な最低賃金改定に依る為、人件費を受注単価に交渉転嫁出来るかが喫緊の問題。
- 【輸送用機器】
- ・現状、もう少し先に「明るさ」が見えるか、我慢する状態が続いている。
- という意見が寄せられた。